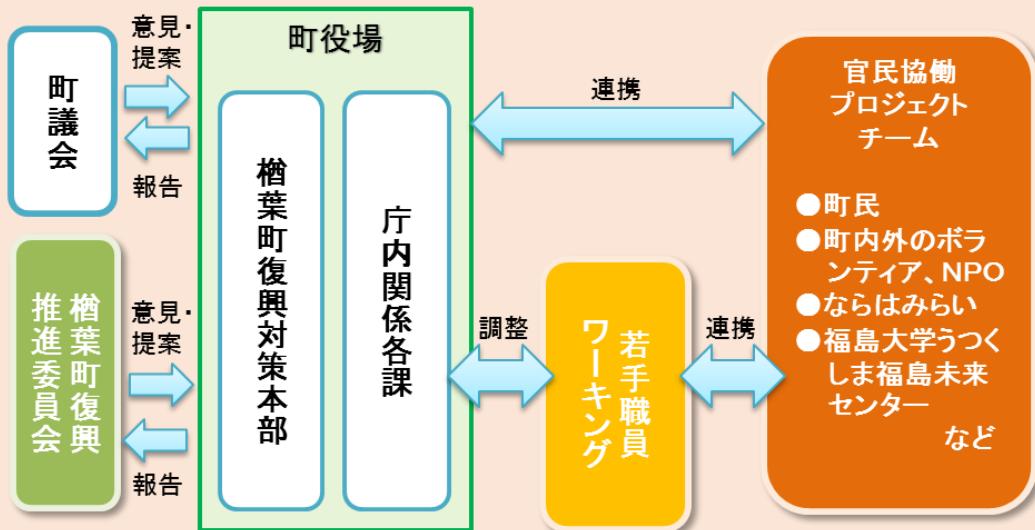


「楡葉町 まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、まち・ひと・しごと創生法に基づいて、国や福島県が定める総合戦略の基本的な考え方を共有しつつ、法第10条に基づいて、楡葉町における地方版総合戦略として策定。

《基本的な考え方》

- ①人口減少と地域経済縮小の克服
  - ✓ 東京一極集中の是正
  - ✓ 若い世代の就労・結婚・子育て希望の実現
  - ✓ 地域の特性に即した地域課題の解決
- ②まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立
  - ✓ 「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻す。
  - ✓ しごとの創生（雇用の質を重視）
  - ✓ ひとの創生（地方での就労・移住・定着を促進。結婚・出産・子育ての支援）
  - ✓ まちの創生（地域の特性に即した課題解決）

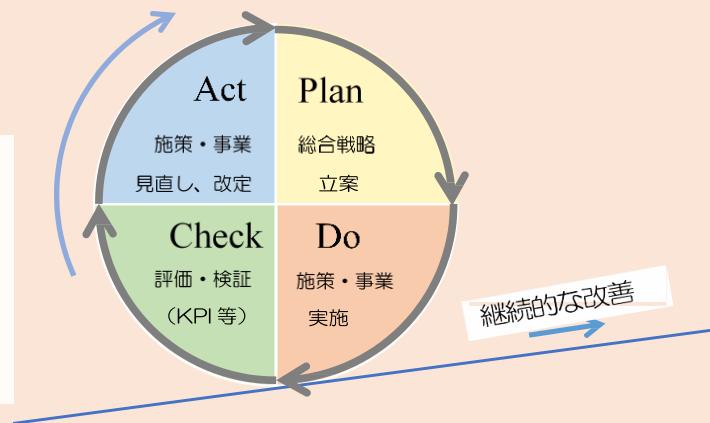
《推進体制》



- 町長を本部長とし、全ての所属長を本部員とする「楡葉町復興対策本部」が統括する。
- 従来の課にとらわれないプロジェクトチームを立ち上げ、若手・中堅職員をプロジェクトの中心に据えた体制（左図）を取る。
- 国・県・町内外の民間企業やNPO等の力を最大限に生かす。

《評価と見直し》

- 基本目標ごとの成果（数値）目標、具体的な施策ごとに重要業績評価指標（KPI）を設定し、施策の効果を検証し改善を行う仕組み（PDCAサイクル=図）を構築。
- 復興推進委員会による検証に加え、若手職員WGなどの場を継続し、情報共有・連携を図るとともに、進捗確認などPDCAサイクルを回す仕組みの一つとして活用。



基本目標①  
若い世代に魅力のある雇用を創出する

町の素晴らしい環境と資源を活かして魅力ある就労環境をつくり、若い世代の人口を呼び込んで、生産年齢人口の回復を目指す。

成果（数値）目標	目標値
就労者における20～30代（若者）の割合	32%

《方針と施策》

- ①ロボット革命につながる企業の誘致・起業支援
  - ✓ 企業誘致コーディネート事業
  - ✓ 各種イノベーション関連事業の支援
  - ✓ 起業やベンチャー企業の支援
- ②企業誘致に必要な労働者の確保
  - ✓ 町民に馴染みのある店舗・事業所などの帰町・進出促進事業
  - ✓ 交通渋滞による通勤負担の軽減
  - ✓ 就労者確保支援事業
  - ✓ 娯楽施設等に関する検討
- ③農業の再生促進、魅力ある被災地農業のモデルづくり
  - ✓ 営農再開の環境整備事業
  - ✓ 新たな農業のモデル構築事業
  - ✓ 新たな農業従事者の確保・育成事業

主な指標名（KPI）	目標値
モックアップ施設を使う企業、スポーツ関連工場の誘致	5年後に3社
雇用促進住宅入居率	100%
町内企業の説明会参加者	50人/回
農業の再開	水稲:200ha、園芸3ha、畜産:50頭

**基本目標②**  
 新しい人の流れを作る

檜葉町の良さをPRし、特徴あるイベント等を開催して町の来訪者を増やす。また、檜葉にしかない施設やエリート育成の場を提供して、全国から多くの移住者を呼び込む取り組みにもチャレンジする。

成果（数値）目標	目標値
年間来町者数(観光イベント・交流事業参加者数)	6,300人/年

《方針と施策》

- ①人の集まり、賑わいをもたらすイベント、スポットをつくる
  - ✓ 新生ならば交流イベント実施・支援事業
  - ✓ 懐かしイベント・祭事再開事業
  - ✓ 新スポットづくり事業
- ②町の魅力を発信して檜葉のファンを増やす
  - ✓ PR動画作成等プロモーション活動の推進
- ③宿泊受け入れの体制づくり
  - ✓ 檜葉おもてなし事業
  - ✓ 学生イベント、被災地学習・調査研究支援
  - ✓ ならば応援団等交流事業
- ④積極的な移住支援
  - ✓ 転入支援事業
  - ✓ 移住者コーディネーター育成

主な指標名 (KPI)	目標値
町内開催イベント数	平均月1回
町に「また来たい」と思った人の割合	80%
PV視聴回数(1本あたり平均)	5,000回
町のFacebookへのいいね!数	9,000
学習旅行へ来る団体数	のべ20団体
移住相談会参加者数	25人

**基本目標③**  
 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

小児科や薬局などの整備に取り組み、併せて経済的支援や幼保育環境・子どもたちの居場所、質の高い教育と体験の機会を提供する。また、若者が集まり出会う機会を企画する。

成果（数値）目標	目標値
「子育てが楽しい」と感じている保護者の割合	90%

《方針と施策》

- ①安心して子どもを育てることができる環境づくり
  - ✓ 子育て医療環境整備事業
  - ✓ 子育て世帯生活支援事業（全町民対象）
  - ✓ 子育て世代の居住安定事業（町外からの移住者対象）
  - ✓ 保育サービス・預かりサービスの充実
  - ✓ 避難先からの通学手段の確保、交通安全
- ②質の良い学びの機会提供
  - ✓ 少人数学級の良さを生かした授業の実践
  - ✓ ICT教育の導入
  - ✓ 外国語教育の充実化
- ③結婚の機会づくり
  - ✓ 縁結び事業
  - ✓ 若者が集まる機会の創出事業

主な指標名 (KPI)	目標値
子育て支援体制の満足度	30%
経済的に不安を感じている子育て世帯の割合	15%
自分の意見を英語でプレゼンテーションできる中学生	50%
将来の夢を抱いている子どもの割合	80%
婚姻届け件数	50件/年

**基本目標④**  
 笑顔があふれるまちをつくる

協働のまちづくりを促進し、コミュニティ活動を復活させる。町民市場（マルシェ）の取り組みを通じ、町のなかに新たな人材・資源の循環を生み出すとともに、生涯教育やスポーツの取り組みも行う。

成果（数値）目標	目標値
孤独の時間	減少させる
「人との繋がり指標」が12点以上の人	増加させる

《方針と施策》

- ①協働のまちづくり
  - ✓ 檜葉まちづくり人材育成事業
  - ✓ 町外サポーター体制強化事業
  - ✓ “ならば市(いち)” 支援事業
- ②檜葉ならではの生涯教育
  - ✓ 町民による“檜葉ふるさと学”への取組促進事業
  - ✓ 歴史的建造物・文化遺産等復旧保全事業
  - ✓ 生涯スポーツ、文化活動推進事業
- ③健康づくりへの取り組み
  - ✓ 地域包括ケア、健康づくりへの多様な取り組み促進

主な指標名 (KPI)	目標値
町民が教えるサークル活動の数	仮設住宅での実施+α
市(いち)の開催回数	毎月1回
スポーツ少年団の種目数	現行+α
毎日自ら体重・血圧を測定する人	毎年1割増加
笑う機会(普段の生活で声を出して笑う機会)が「ほぼ毎日」の人	28.2%以上